

体外受精卵移植の普及に関する取組

広島県では、乳用牛への和牛受精卵移植を活用した県産和牛の増産を推進しています。今回は、県が実施する体外受精卵移植の普及に向けた取組とその成果を紹介します。

①体外受精卵の供給に関する取組

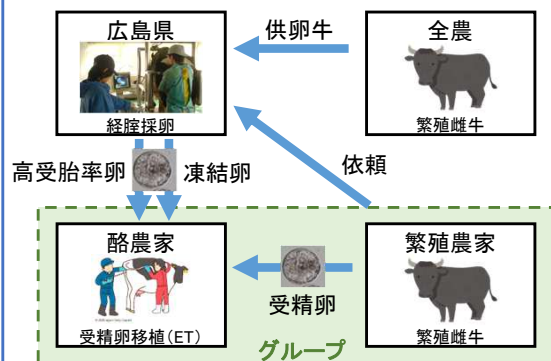


図1 広島県における体外受精卵生産・供給の仕組み

【事業採卵】

- 全農広島が飼養する繁殖雌牛を県が借り上げることで、**広島血統和牛に資する体外受精卵**を安定的に生産・供給しています。
- 生産した体外受精卵は、高受胎率卵（新鮮卵やガラス化融解卵）として配布、または凍結卵として販売しています。

【手数料採卵】

- 複数の農家等から構成されるグループの移植支援のため、**農家所有の雌牛と凍結精液を用いて体外受精卵を生産**しています。
- 生産した体外受精卵を、新鮮卵や凍結卵としてグループへ供給することで、民間を主体とした移植体制の構築が進んでいます。

②技術普及に関する取組

【ビトラー7の開発】



ビトラー7
特許第6238186号

- 凍結卵の受胎率向上を図るため、新たな保存器具『ビトラー7』を開発※しました。
※エア・ウォーター・リアライズ(株)との共同開発
- 畜産事務所と協力し、ビトラー7を用いた移植の普及に取り組みました。
- ビトラー7を用いた移植において、新鮮卵と同等の高い受胎率が得られています。

【受精卵移植師の育成】



移植技術研修会

県内移植師の技術力向上を目指し、研修会を開催しました。



移植師養成講習会

県内在住の希望者5名を対象に実施。全員が移植師免許を取得しました。

成果

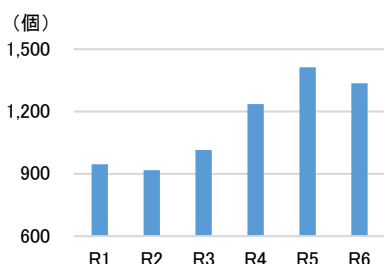


図2 体外受精卵の供給個数

受精卵の供給体制整備と移植体制の構築支援により、1,200個/年以上の受精卵を安定的に供給できています。

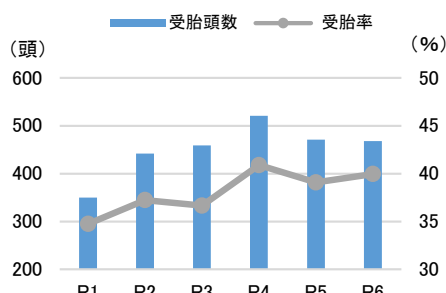


図3 受胎頭数と受胎率の推移

高受胎率卵、ビトラー7の供給と移植師の技術力向上を図った結果、受胎率は40%程度を達成しています。

※主に県が移植に関与したデータのみを使用

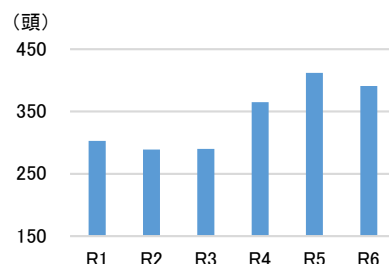


図4 移植により得られた産子数

移植の普及、受胎頭数の確保により、400頭/年程度の移植産子が誕生し、県産和牛の増頭に寄与しています。

県内の需要を満たす受精卵の生産、供給体制が構築されています。また、技術普及による受胎率の向上に伴い、受胎頭数と分娩頭数が増加し、受精卵移植の普及に関する取組が広島和牛の増産につながっています。